

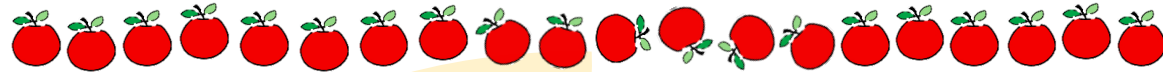
# 令和5年度大田区立図書館 巡回展「りんごの棚」開催しました！

開催期間：令和5年5月19日～令和6年3月13日

大田区立図書館では  
「こどもみんなに読書のたのしさを！」  
をキャッチフレーズに全館で「りんごの棚」を巡回  
展示しました！  
各図書館で工夫を凝らした、装飾や選書に取組  
みました！各館の展示の様子をご紹介します！  
巡回展は終了しましたが、全館で「りんごの棚」の  
コーナーを常設しています。  
展示した資料リストに掲載した資料は予約・貸出  
ができます。

# @ 大森南図書館

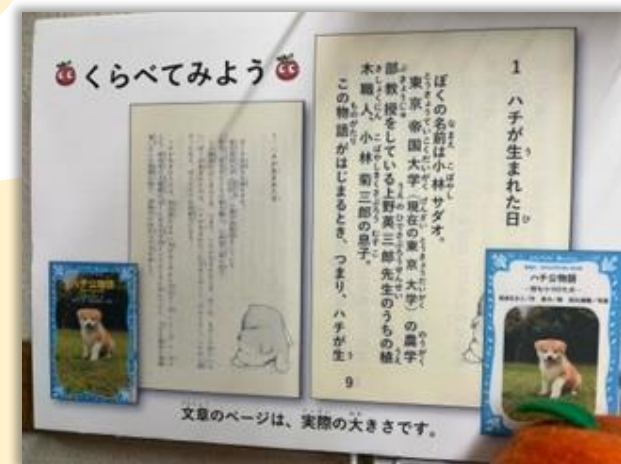
展示期間:5月19日~7月19日



## 大森南図書館担当者の声

児童室にりんごの棚を展示、ブックトラックで大きな文字の青い取り文庫を展示しました。「手作り絵本の会チューリップ」さんから提供された布絵本をカウンター前の机に多数展示して、こどもはもちろん大人も興味を持って手にとっていただきました。「りんごの棚」にある資料がバリアフリー資料だということを知らない方が多いようでした。





## 久が原図書館担当者の声

目につく見出しや表示を工夫して作成しました。一般の資料のLLブックを、一般の棚ではなく児童室のりんごの棚に置いたところ、子どもたちにも好評でした。

小学校低学年の保護者の方から「子どもが青い鳥文庫を読みたがるが、文字が小さいなどハードルが高かった。大きな文字の青い鳥文庫なら、ルビも全部ふってあるし、読みやすい。こういう本を待っていた。」というご意見いただきました。

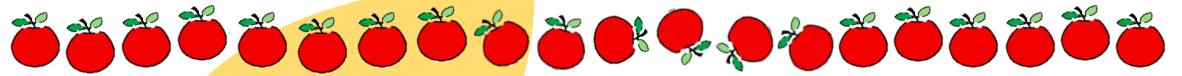






# 大田図書館

展示期間:6月9日~8月9日



## 大田図書館担当者の声

こどもみんなにどくしょの読書のたのしさを伝えるために幅広い視点で展示資料を選書すること、当館ではすでに設置している「YA&りんごの棚」「大きな文字の青い鳥文庫」の常設書架との差別化をはかるため、できるだけ多くの資料を面出して展示・紹介することをこころがけました。面出し用のディスプレイの作成やリーディングトラックの紹介・実物展示などを工夫しました。





## 池上図書館担当者の声

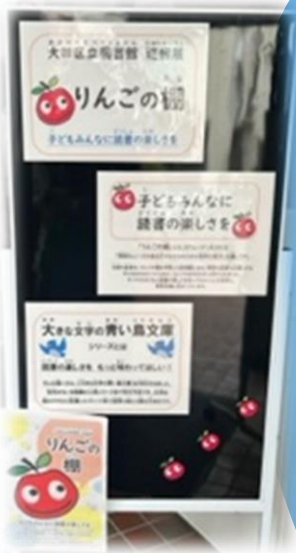
学習障害に関することや、手話、点字についてパネルを作成し、展示しました。りんごの棚ができた由来や読書バリアフリー法、電子書籍サービスについても紹介をした。また、リーディングトラッカーの使い方についても説明パネルを展示しました。さまざまな分類にちらばっていたLLブックがまとってみれることで貸出し数が多くなっていたようでした。点字つきさわる絵本も子どもたちがてにとっていたようでした。





# 蒲田図書館

展示期間:6月9日~8月9日



## 蒲田図書館担当者の声

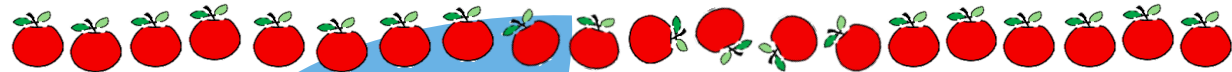
「りんごの棚」の取り組みを知ってもらうことに重点を置き展示しました。館内のいたるところにりんごマークを配置、スタッフはりんごマークのバッチを着用して来館した方をお迎えしました。普段は手に取られなかった点字つきさわる絵本などが、展示したことでたびたび手にとられていました。





# 入新井図書館

展示期間:8月11日~10月11日



## 入新井図書館担当者の声

あまり手に取られていなかった点字の資料や布絵本を展示し、さまざまな形態の資料の周知をして、多くの来館者の方が閲覧していました。障がいテーマにした物語やノンフィクションが良かったので次々と借りていきますと利用者より声がありました。





# 洗足池図書館

展示期間: 8月11日~10月11日



児童室のベンチに座った位置から展示書架が見やすいように配置しました。  
展示資料は児童書を中心とし、一般書は保護者の立場から興味を持っていただけそうなものを選書しました。  
大きな文字の青い鳥文庫は、通常のものと比較できるように、並べて展示しました。

洗足池図書館担当者の声





# 蒲田駅前図書館

展示期間：8月18日～10月18日



展示コーナーの書架に合わせた大きさのりんごの木を作製し、背板から壁面へ貼付しました。書架とブックスタンドを利用し、なるべく多く資料の面出しをして展示。また、展示した以外の関連資料や拡大読書器などが館内のどこにあるのかがわかるように館内案内図を作成、展示コーナーの書架に掲示。5色のリーディングトラッカーを並べ、実際に文章に当ててどの色が見やすいのか体験して頂くボードを作成し、展示しました。

蒲田駅前図書館  
担当者の声





# 下丸子図書館



展示期間:8月18日~10月18日



## 下丸子図書館担当者の声

様々な障がいについての理解を深めるため、障がいのある人自身が書いた資料や、その家族の日常を描いた絵本などを多く展示しました。りんごの棚の取り組みの説明を夏休みのイベント開催時に、参加者の親子に実施して興味をもっていただきました。

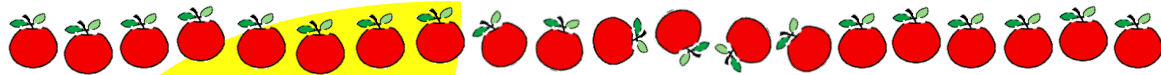






# 羽田図書館

展示期間:8月18日~10月18日



## 羽田図書館担当者の声

目につきやすい児童室の出入りに配置。りんごの棚をアピールするために大きなりんごのモチーフを作成して展示しました。青い鳥文庫の文字の大きさの違いを見比べるために見本を作成して展示した。障がいを理解するための本も多数展示した。こどもだけでなく大人の方も興味を持って見ていたようでした。





# 大森西図書館

展示期間 10月20日～12月20日



## 大森西図書館担当者の声

シンボルマークのりんごの切り絵を大小たくさん作り、展示コーナーの側面や縁取りにその切り絵を貼り付け装飾しました。全体資料が一目で見えるよう、奥の配架場所をかさ上げし、立体的に見えるようにしました。当館の顔ともいえる場所のため、階段を使う利用者全員が目にはされていました。





# @ 馬込図書館

展示期間：10月22日～12月21日



おおたくりつとしょかん じゅんかいでん  
大田区立図書館 巡回展  
たな  
**りんごの棚**  
子どもみんなに読書の楽しさを  
2023年12月20日水曜日まで



## 馬込図書館担当者の声

折り紙のりんごを作成して、メインの壁面展示やブックトラックを装飾しました。小さい子どもが、さわる絵本などを楽しくさわっている姿が見受けられました。洗足池図書館と場所が近いこともあり、りんごの顔マークを洗足池でも見たといっている方が数人いたので、地域の方に少しずつ知っていただけましたようです。まだまだ、認知度は少ないと思いますので、地域と連携して周知できるイベントができると良いです。

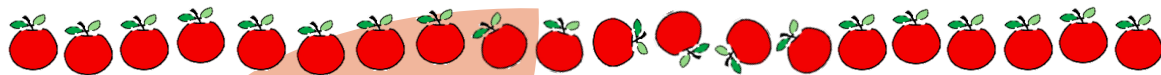






# 浜竹図書館

展示期間：11月10日～1月10日



浜竹図書館担当者の声

さわれる絵本、点字絵本など、児童が手に取って楽しめる本を見童室のトラック上段に面見せして展示し、目に止まるようにした。一般の展示コーナーにはLLブック、障がいの本、青い鳥文庫を展示しました。さわれる絵本はだれでも楽しめて貸出も多く、展示期間に5～6回借りられた本が多くあった。2カ所で展示したことで、子どもにも大人にもりんごの棚を知ってもらうことができた。延べ129回貸し出されました。







# 多摩川図書館

展示期間: 11月10日~1月10日



## 多摩川図書館担当者の声

バリアフリー資料の存在を知ってもらうことを第一の目的とし、展示コーナーを2か所設け、多くの本を紹介しました。

正面玄関入口、自動返却機横に各展示コーナーへの案内も掲示して展示場所へ案内しました。

りんごマークのついた看板、紙製の立体的なりんご、りんごのシールを製作し、各展示コーナーに飾り、またLLブック、大きな文字の青い鳥文庫に資料の解説パネル、大展示コーナーに置いたリーディングトラックーに使い方の説明パネルを添え、関心を引く工夫をしました。





# 六郷図書館

展示期間: 11月17日~1月17日



## 六郷図書館担当者の声

一般書(2階)を利用した人にも見やすく、  
車いすやベビーカーなどの人でも見やすいように通路の広い階段下のスペースに設置しました。多くの  
人に興味を持っていただけるよう、  
明るい展示を行いました。  
りんごの棚の意図を広く伝えられる  
よう図書館便りやチラシを設置し、  
館内には「新設りんごの棚」のポ  
スターを貼り周知をしました。





# @ 大森東図書館

展示期間：1月12日～3月13日



## 大森東図書館担当者の声

入口、自動返却機、カウンターのトレイ、新刊コーナーに案内を掲示して、展示に目が向くように工夫しました。巨大なりんごマークとりんごマークのついたりにんごの木を製作して展示コーナーも動物のマスコットで装飾し、こども楽しめるし展示にしました。

点字絵本や、さわる絵本は面出して陳列し、手に取ってもらいやすいようにをこころがけました。また、拡大読書器やリーディングトラッカーの案内掲示も行って。保護者の方向けの、学習障害やディスレクシアに関する資料もよく貸出しされていました。

